



80才、90才と「高齢になっても」、今後ますます増える「ひとり暮らし」になっても、地域の人とのつながりは、いきいきと豊かな生活を送る糧。また、いざという時の安心の糧となります。支え合いを育む日常の活動を「**地域のお宝**」と称し、ご紹介します。

沢野地区 寺田さんちのつながり



月に一度のお茶会

高林東町に住む寺田美紀子さんは、3年前から、いきいきサロンで出会った仲間や元職場の同僚と一緒に、毎月1回、自宅でお茶会を開いています。お茶会では、近況を語り合ったり、健康や暮らしのちょっとした話題で盛り上がります。お茶会以外にも外で食事をしたり、お誕生日祝いをしたり、時には自宅にピアノの先生を招き、寺田さんのハーモニカと合わせて歌を楽しむこともあり、にぎやかで楽しい時間を過ごしています。



寺田美紀子さん(72)

2016年～2022年まで民生委員を務めました。「もともと人と関わるのが好きで、民生委員を退任したのをきっかけに、自宅に友人を招いてお茶会を開こうと思いました。定期的に顔を合わせることで、お互いに元気を分け合っています」と話します。



お茶会メンバー全員でお金を出し合い新井さんにお誕生日祝いをプレゼント

地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～



移動販売「とくし丸」



沢野地区には福沢町のベイシアマートや下浜田町のマルシェがありますが、高林東町周辺にはスーパーがありません。寺田さんは、高齢者など移動手段のない方にも、品物を見ながら買い物を楽んでもらえるようにと、2年前から毎週水曜日の午後3時30分に、移動販売「とくし丸」を自宅の庭に呼ぶようになりました。「とくし丸」は、買い物場であると同時に、地域の人々が顔を合わせ、情報交換をするきっかけにもなっており、人々をつなぐコミュニティの拠点としての役割も果たしています。



★お仲間にお話を聞きました★



寺田さんの元同僚。会には世良田町からバスで参加しています。「4月に車の免許を返納し、お買い物クラブを利用しています。この会はお茶のみと同時に買い物もできるので助かります」と話します。

毎朝、近所を散歩し、途中で会う仲間と、歩き終えた後も暫くおしゃべりするのが楽しみの一つです。「この会はみなさんから元気をもらえるので、いつも楽しみにしています」と話します。



大竹恵美子さん(81)

鈴木千江子さん(87)

高林東町(ご近所)にお住まいで、寺田さんのお姑さんがご存命の頃からお茶のみに来ています。「お茶の間カフェもいいけれど、ここが私にとって居心地のよい場所です」と話します。



新井静子さん(88)



大熊幸江さん(82)

普段は自宅の敷地内で家庭菜園を楽しんでいます。「2年前に自動車免許を返納してから行動範囲が狭くなってしまったので、ここに来ると気晴らしになって、気分はルンルンです」と話します。



小林きよしさん(86)

寺田さんちの隣に住んでいます。多いときは週に3～4回お茶のみにお互いの家を行き来することもあります。寺田さんは、カーテンが開いていないと声をかけてくれたり、野菜や料理(カレーなど)をお裾分けしてくれたりします。「寺田さんは本当に面倒見が良くて助かっています。近くに寺田さんがいてくれて良かったです。」と話し、移動販売についても「車を持っていないので、とくし丸が来てくれてとても助かっています」と話します。

check

寺田さんちに来まるお茶飲み仲間には一人暮らしの方も多く、お茶会を通じて地域の人々の憩いの場や情報交換の場となっています。

また、寺田さんちのお庭には週に一度移動販売車が訪れ、近所の方々にとって買い物と交流の場となり、顔を合わせ安心できる居場所にもなっています。

★あなたの地域のお宝情報を募集しています！
「私の近所ではこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけている」など、あなたの地域のつながりを教えてください。情報をお持ちの方は右記お問い合わせまでお願いします。

お問い合わせ
太田市社会福祉協議会 地域福祉係
〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549
TEL 0276-46-6208 FAX 0276-46-6229



つながる通信
バックナンバー